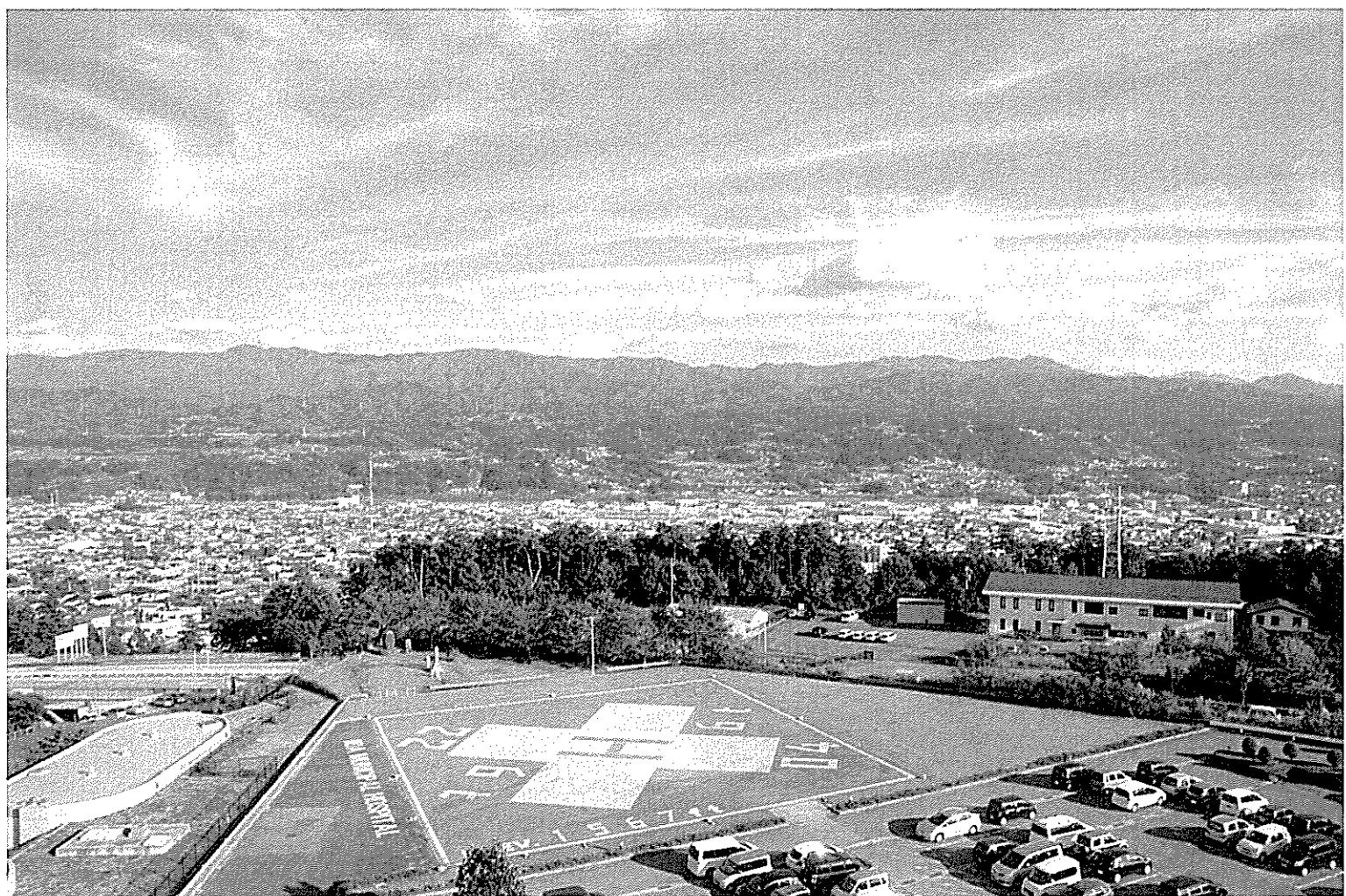


平成 2 3 年度

# 飯田市立病院概要

第 1 7 号



病院屋上から竜東を望む

飯田市立病院

## **飯田市立病院 基本理念**

**私たちは、地域の皆さんの健康を支え  
信頼される医療を実践します**

## **飯田市立病院 基本方針**

- 1 私たちは、安全・安心で良質な医療を提供します
- 2 私たちは、患者さんの権利と意思を尊重し、地域の皆さんに開かれた病院づくりを行います
- 3 私たちは、地域の保健、医療、福祉機関と密接に連携します
- 4 私たちは、教育・研修機能を高め、医療水準の向上と人間性豊かな医療人の育成に努めます
- 5 私たちは、公共性と経済性を考慮し、健全な病院経営に努めます

## **飯田市立病院 理念行動指針**

**私たちは、  
誠意 热意 創意  
をもって医療を実践します**

# 飯田市立病院

飯田市立病院は、患者さんの権利と意思を尊重し、信頼される良い医療を行うために、患者さんの権利と守っていただきたい責務を定めます。

## 1. 良質の医療を受ける権利

適切で良質で最善の医療を公平に継続して受ける権利があります。

また、必要な時にはいつでも、医療従事者の援助・助力を求める権利があります。

## 2. 選択の自由の権利

病院や医師を自由に選択し、または変更する権利があります。

## 3. 情報を知る権利

治療や症状について真実を知り、担当医師や受け持ち看護師より納得ができるまで充分に説明を受ける権利があります。その説明に対して納得がいかない場合、担当医師以外の医師に意見を聞く権利があります。

## 4. 自己決定の権利

充分な説明を受け、治療方法を自らの自由意思で選択し、治療を受ける権利と治療を受けることを拒否する権利があります。

# 「患者の権利と責任」

## 5. 機密保持をえる権利

診療や治療で医師や従事者が知りえた全ての患者情報、全てのプライバシーの機密保持をえる権利があります。

患者さん本人の承諾なくして、第三者に開示されない権利があります。

## 6. 尊重される権利

自ら病を克服しようとする主体として、医療の場において常にその生命・身体・人格が尊重される権利があります。

人間的な終末期ケアを受ける権利を有し、できる限り尊厳を保ち、安楽に終末期を迎えるためのあらゆる可能な助力を受ける権利があります。

## 7. 情報を提供する責務

医師をはじめとする医療提供者に対して、自身の健康に関する情報をできるだけ正確に提供する責務があります。

## 8. 医療に協力する責務

全ての患者さんが等しく上記の権利を行使するためにも、病院の規則を守り、提供される医療に協力して、できるだけ健康的な生活習慣を身につける責任があります。

また、他の患者さんの治療に支障を与えないように配慮する責務があります。

# 目 次

1. 概 要	5
2. 飯田市立病院組織図	9
3. 沿革	10
4. 飯田市立病院委員会等組織表	11
5. 飯田市立病院の施設の特色	12
6. 職員に関する事項	13
7. 平成22年度飯田市立病院事業報告	
(1) 概況	14
(2) 患者の年度別状況	17
(3) 平成22年度企業債及び一時借入金の状況	17
(4) その他会計経理に関する重要事項	17
(5) 平成22年度飯田市立病院事業決算報告書	18
(6) 飯田市立病院事業損益計算書	20
(7) 飯田市立病院事業剰余金計算書	21
(8) 飯田市立病院事業貸借対照表	22
(9) 経営分析に関する調査	24
(10) 財務分析に関する調査	27
8. 業務の状況	
(1) 飯田市立病院患者動向統計	29
(2) 各科業務量	31
9. クリニカルインディケーター	
(1) ICU入室及び再入室患者数(48時間以内)	40
(2) 褥瘡深達度(ステージ)	40
(3) 予定しない再手術件数	40

## 1. 概要

・所在 地 飯田市八幡町438番地

・開設年月日 当初 昭和26年3月12日 開設許可  
新病院 昭和26年12月3日 診療開始  
平成2年7月4日 開設許可  
平成4年10月27日 診療開始

・病床数 一般病床 403床 (うち救急ICU 2床、ICU 4床、NICU 3床)  
感染症病床 4床 (平成11年4月1日から)

・診療科目 32科

内	科 (昭和26年12月)	循環器内科 (平成20年4月 医療法施行令改正 に伴う科名変更等)
外	科 (昭和27年6月)	
整 形 外	科 (昭和29年6月)	呼吸器内科 (〃)
麻 醉	科 (昭和48年4月)	消化器内科 (〃)
小 児	科 (昭和49年1月)	内分泌内科 (〃)
脳 神 経 外	科 (昭和51年5月)	糖尿病代謝内科 (〃)
神 経 内	科 (昭和51年12月)	腎臓内科 (〃)
泌 尿 器	科 (昭和53年4月)	消化器外科 (〃)
形 成 外	科 (昭和54年9月)	乳腺外科 (〃)
眼	科 (昭和63年10月)	病理診断科 (〃)
呼 吸 器 外	科 (平成元年4月)	臨床検査科 (〃)
心 臓 血 管 外	科 (〃)	救急科 (〃)
産 婦 人 科	科 (〃)	緩和ケア内科 (平成21年9月)
耳 鼻 い ん こ う	科 (平成元年10月)	
放 射 線	科 (平成4年10月)	
皮 膚	科 (平成5年4月)	
歯	科 (平成7年7月)	
リ ウ マ チ	科 (平成9年1月)	
リハビリテーション科	(〃)	
歯 科 口 腔 外 科	(〃)	

## • 各種指定

DPC 対象病院  
地域医療支援病院  
地域がん診療連携拠点  
新型救命救急センター  
病院臨床研修病院  
臨床修練指定病院  
救急指定病院  
長野県心疾患基幹病院  
原爆被爆者医療等指定医療機関  
エイズ治療拠点病院  
指定自立支援医療機関（育成医療・厚生医療）  
日本内科学会内科専門医教育関連病院  
日本消化器内視鏡学会認定指導施設  
日本呼吸器学会認定施設  
日本整形外科学会専門医制度修練施設  
日本呼吸器外科学会専門医制度研修施設  
日本胸部外科学会認定医制度関連施設  
日本眼科学会専門医制度研修施設  
日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設  
日本麻酔学会麻酔指導病院  
日本産婦人科学会専門医制度卒後研修指導施設  
日本ペインクリニック学会指定研修施設  
日本循環器学会循環器専門医研修施設  
日本消化器病学会専門医制度認定施設  
日本心血管インターベンション学会認定研修施設  
日本外科学会外科専門医制度修練施設  
日本プライマリ・ケア学会認定医研修施設  
日本歯科口腔外科専門医制度研修機関  
日本内分泌代謝科認定教育施設  
日本皮膚科学会認定専門医研修施設  
日本老年医学会認定施設  
日本集産期・新生児医学会専門医研修施設  
マンモグラフィ検診施設

財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価「一般病院」  
更新認定（平成 22 年 1 月 24 日）

## ・施設の概要

敷地面積 37,142.24 m<sup>2</sup> 総敷地面積 72,469.41 m<sup>2</sup>

### 建築延べ面積

本館 25,803.51 m<sup>2</sup> 鉄骨鉄筋コンクリート造  
(一部鉄筋コンクリート造 地下1階 地上6階)

附 屬 棟 501.26 m<sup>2</sup> 鉄骨鉄筋コンクリート造  
(一部鉄筋コンクリート造 地下1階 地上1

別 棟 324.96 m<sup>2</sup> 鉄骨造2階建

看護師宿舎 393.60 m<sup>2</sup> 鉄筋コンクリート造3階建1棟15戸  
医師住宅 木造1戸建 18戸

職員宿舎 380.70 m<sup>2</sup> 鉄筋コンクリート造3階建1棟9戸

看護師養成実習室 413.62 m<sup>2</sup> 鉄筋コンクリート造2階のみ  
構造:RC、外壁:モルタル、内装:モルタル、天井:モルタル

感 染 痘 病 舍 331.36 m<sup>2</sup> 鉄筋コンクリート

場外離着陸場 2,755.89 m<sup>2</sup> (敷地面積)

臨 床 研 修 棟 606.31 m<sup>2</sup> 鉄骨造3階建

■ 飯田市立病院承認施設基準等の状況 (平成23年10月1日現在)

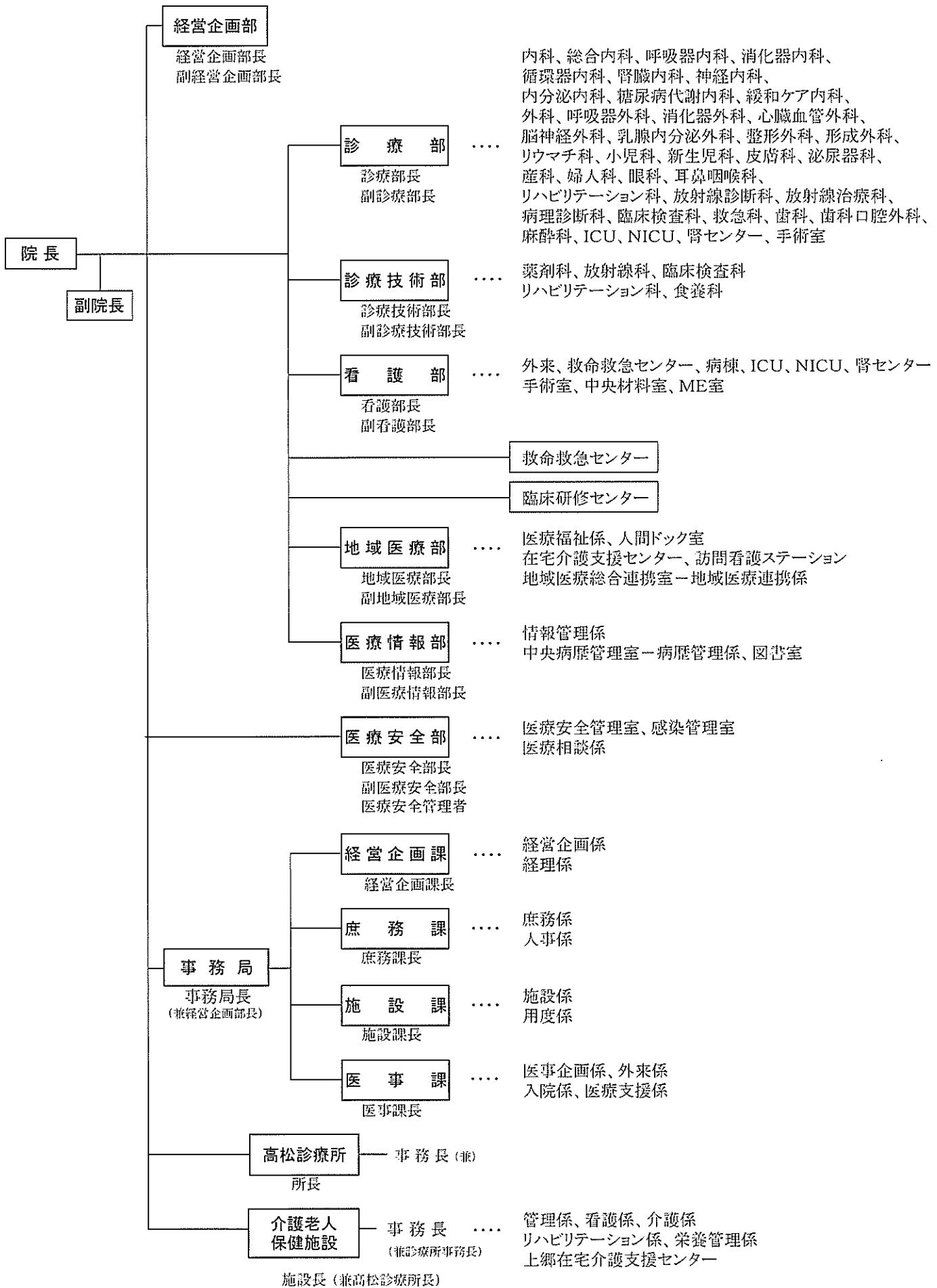
No.	項目名称
基本診療料	地域歯科診療支援病院歯科初診料
	歯科外来診療環境体制加算
	一般病棟入院基本料(7対1)
	総合入院体制加算
	臨床研修病院入院診療加算
	救急医療管理加算・乳幼児救急医療管理加算
	超急性期脳卒中加算
	妊産婦緊急搬送入院加算
	診療録管理体制加算
	医師事務作業補助体制加算(15対1)
	急性期看護補助体制加算(50対1)
	重症者等療養環境特別加算
	がん診療連携拠点病院加算
	栄養管理実施加算
	栄養サポートチーム加算
	医療安全対策加算
	感染防止対策加算
	褥瘡患者管理加算
	褥瘡ハイリスク患者ケア加算
	ハイリスク妊娠管理加算
	ハイリスク分娩管理加算
	慢性期病棟等退院調整加算1
	急性期病棟等退院調整加算1
	新生児特定集中治療室退院調整加算
	総合評価加算
	呼吸ケアチーム加算
特定入院料	救命救急入院料1
	救命救急入院料4
	特定集中治療室管理料2
	新生児特定集中治療室管理料2
	小児入院医療管理料3
	亜急性期入院医療管理料1
特掲診療料	糖尿病合併症管理料
	がん性疼痛緩和指導管理料
	がん患者カウンセリング料
	ニコチン依存症管理料
	開放型病院共同指導料
	地域連携診療計画管理料
	ハイリスク妊産婦共同管理料(Ⅰ)
	薬剤管理指導料
	医療機器安全管理料1
	医療機器安全管理料2
	医療機器安全管理料(歯科)
	血液細胞核酸増幅同定検査
	HPV核酸同定検査
	検体検査管理加算(Ⅰ)
	検体検査管理加算(Ⅳ)
	埋込型心電図検査
	皮下連続式グルコース測定
	神経学的検査
	小児食物アレルギー負荷検査
	内服・点滴誘発試験
	センチネルリンパ節生検
	画像診断管理加算2
	ポジトロン断層撮影又はポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影
	CT撮影及びMRI撮影

■ 飯田市立病院承認施設基準等の状況 (平成23年10月1日現在)

No.	項目名称
特掲診療料 つづき	冠動脈CT撮影加算
	外傷全身CT加算
	抗悪性腫瘍剤処方管理加算
	外来化学療法加算1
	無菌製剤処理料
	心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)
	脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)
	運動器リハビリテーション料(Ⅰ)
	呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)
	エタノールの局所注入(甲状腺)
	エタノールの局所注入(副甲状腺)
	透析液水質確保加算
	乳がんセンチネルリンパ節加算
	経皮的中隔心筋焼灼術
	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
	両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術
	埋込型除細動器移植術及び埋込型除細動器交換術
	両室ペーシング機能付き埋込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き埋込型除細動器交換術
	大動脈バルーンパンピング法(IABP法)
	ダメージコントロール手術
	体外衝撃波腎・尿管結石破碎術
	医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6(歯科点数表第2章第9部の通則4を含む)に掲げる手術
	輸血管管理料Ⅱ
	麻酔管理料(Ⅰ)
	麻酔管理料(Ⅱ)
	放射線治療専任加算
	外来放射線治療加算
	高エネルギー放射線治療
	クラウン・ブリッジ維持管理料
入院時食事療養等	入院時食事療養(Ⅰ)
	食堂加算

## 2. 飯田市立病院組織図

平成23年4月1日現在

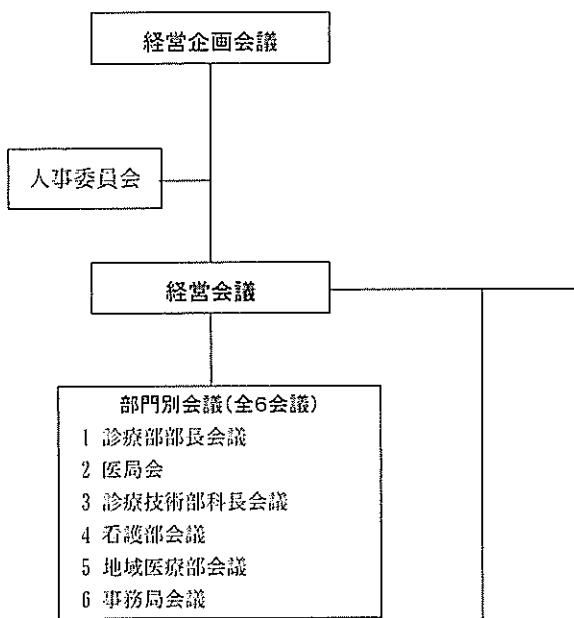


### 3. 沿革

昭和26年 3月	病院開設許可(病床数一般25床、結核9床)
26年 12月	開院
40年 7月	増改築(本館)竣工(鉄筋コンクリート地下1階)
49年 3月	中央診療棟竣工(鉄筋コンクリート地下1階、地上2階)
52年 3月	増改築(新館)竣工(鉄筋コンクリート地下1階、地上4階、病床数一般304床、結核61床)
54年 9月	新病院建設マスターPLAN作成依頼
56年 7月	同報告書完成
56年 11月	病院整備研究委員会設置
59年 4月	結核病床廃止(病床数一般304床)
61年 12月	病院建設研究室設置
63年 12月	新病院建設基本設計、実施設計発注
平成元年 11月	総合病院となる
2年 2月	新病院建設設計完了、敷地造成工事着手
2年 7月	新病院開設許可(病床数一般50床増床し、354床に変更) 建設工事着手
4年 7月	新病院本館工事終了
4年 9月	新病院竣工
4年 10月	開院
7年 4月	伝染病隔離病舎工事終了
7年 7月	看護師養成実習室竣工
9年 1月	災害拠点病院指定
9年 3月	エイズ治療拠点病院指定
10年 3月	6階東病棟増築竣工(病床数49床増床し、403床となる) 外来棟増築竣工
10年 9月	検査手術棟増築竣工
11年 6月	リハビリ棟増築竣工
12年 6月	高圧酸素治療室整備 8月 場外離着陸場(ヘリポート)竣工
9月	地域周産期母子医療センター指定
13年 3月	MRI室整備 10月 ヘリポート油庫設置
12月	在宅介護支援センター(別棟)新築
14年 3月	救急治療室増改築 結核患者収容個室整備
15年 9月	救急外来大屋根整備 12月 駐車場ゲート運用開始
16年 2月	入院電子カルテ運用開始 4月 外来電子カルテ運用開始
7月	地域医療支援病院承認
17年 1月	日本医療機能評価機構 認定病院更新 4月 臨床研修棟整備
18年 2月	助産師外来開始 7月 PET-CT整備
10月	新型救命救急センター指定
19年 1月	地域がん診療連携拠点病院指定 3月 高松分院閉院 4月 高松診療所開設
20年 4月	院内保育所開設
21年 4月	DPC対象病院
22年 1月	日本医療機能評価機構V6.0認定更新 22年 5月 飯田市立病院介護老人保健施設・高松診療所 新施設完成
22年 6月	医療コンシェルジュ配置
23年 5月	電子カルテシステム更新 自動支払機導入

4. 飯田市立病院各種委員会等組織図 (全58委員会・会議)

☆は、法令・施設基準等に規定のあるもの



診療系(全24委員会)

- 1 医療安全推進委員会
- ☆ 2 院内感染防止対策委員会／感染対策チーム
- 3 倫理委員会
- 4 脳死判定委員会
- ☆ 5 治験審査委員会
- ☆ 6 輸血療法委員会
- ☆ 7 臨床検査精度管理検討委員会
- 8 診療情報管理委員会
- 9 救急医療委員会  
(救命救急センター運営部会／医療部会)
- 10 がん診療連携拠点病院運営委員会
- 11 緩和ケア委員会／緩和ケアチーム
- 12 がん化学療法検討委員会
- 13 クリティカルパス委員会
- 14 病床管理委員会
- 15 集中治療室運営委員会
- 16 手術室管理運営委員会
- 17 葉事委員会
- 18 リハビリテーション運営委員会
- ☆19 栄養管理会議
- 20 栄養皮膚ケア委員会／褥瘡チーム／栄養サポートチーム
- 21 人間ドック委員会
- 22 在宅ケア委員会
- 23 呼吸ケア委員会／呼吸サポートチーム
- 24 糖尿病ケア委員会

運営管理系(全21委員会)

- 1 病院機能評価・経営改善委員会
- ☆ 2 労働安全衛生委員会
- ☆ 3 地域医療支援病院運営委員会
- 4 医療サービス推進委員会
- ☆ 5 相談窓口運営委員会
- 6 診療記録監査委員会
- 7 医療情報システム委員会
- ☆ 8 個人情報保護委員会
- 9 診療報酬請求審査検討委員会
- ☆10 DPC委員会
- ☆11 放射線安全委員会
- ☆12 防火防災対策委員会
- ☆13 医療ガス安全管理委員会
- 14 産業廃棄物適正化委員会
- 15 廃棄材料・機器購入等審査委員会
- 16 医療機器維持運用委員会
- 17 物品購入委員会
- 18 広報編集委員会
- 19 院内保育所運営委員会
- 20 ボランティア委員会
- 21 省エネルギー推進委員会

教育研究系(全4委員会)

- 1 臨床研修管理委員会
- 2 医誌編集委員会
- 3 教育研修委員会
- 4 図書室運営委員会

## 5. 飯田市立病院の施設の特色

- 当医療圏内で最高の機能を供えた病院となり、他の医療機関との機能分担と相互連携によって住民の健康を守る中心的役割を果たしています。
- 段丘上の恵まれた自然環境の中に立地しています。明るく清潔な院内とし、患者さんが希望をもって治療に専念できるよう待合室、病室、デイルームなど施設全体に工夫がなされています。
- 広い敷地を活用して1階を広くとり、ほとんどの診療が1階で受けられるように外来診療室、放射線診断室、検査室等が配置され、患者さんにわかりやすく、職員も働きやすいようにレイアウトしています。
- 病院施設は安全性が肝心です。施設全体に安全施設や防災対策が施され、院内の感染防止対策も考慮されています。

放射線治療機器	手術関連機器
放射線治療システム	患者監視モニタリングシステム
リニアック	無影灯
ラルストロン	手術台
ストロンチウム89シリンジ分注装置	トランスマーバー
放射線診断機器	電気メス
P E T - C T	麻酔器
R I	腹腔鏡手術機器
M R I	鼻腔鏡手術機器
C T	鼻副鼻腔・咽頭喉頭手術システム
X線T V	開頭ドリル機器
血管撮影装置（アンギオ）	脳外科手術顕微鏡
骨密度測定装置	形成外科手術顕微鏡
腹部エコー	人工心肺装置
結石破碎装置	大動脈バルーンポンプ
マンモグラフィー	人工関節手術機器
乳腺バイオプシー	レーザー手術機器
一般X線撮影装置	超音波手術機器
C R	超音波白内障手術機器
放射線画像ファイリングシステム（P A C S）	眼科手術レーザー治療機器
放射線情報システム（R I S）	硝子体手術システム機器
X線画像ネットワークシステム・動画サーバー	手術室用エコー
臨床検査用機器	除細動器
生化学自動分析システム	高圧蒸気滅菌装置
血算装置	プラズマ滅菌装置
血液凝固分析装置	ジェットウォッシャー
血液培養装置	超音波洗浄装置
輸血検査システム	光学式手術ナビゲーションシステム
検体搬送システム	術中ビデオ記録システム
電気化学免疫測定装置	I C U 関連機器
病理検査システム	患者監視モニタリングシステム
臓器標本撮影装置	I C U ベッド
電子顕微鏡	熱傷ベッド
肺機能測定装置	人工呼吸器
運動負荷試験システム	腎センター関連機器
脳波計	R O 水処理装置
筋電図・誘発電位検査装置	ダイアライザー
心電図システム	病棟用M E 関連機器
心臓エコー	輸液ポンプ
血液ガス電解質分析装置	シリンドリポンプ
薬剤関連機器	下肢加圧装置
散剤調剤監査システム	低圧持続吸引器
錠剤分包機	パルスオキシメーター
散剤分包機	その他医療機器
薬品画像監査システム	外科穿刺エコー
注射薬品ロット管理システム	産婦人科エコー
リハビリ用機器	皮膚灌流圧測定装置
牽引装置	分娩監視装置
低周波治療器	分娩台
干渉波治療器	保育器・インファントウォーマー
超音波骨折治療器	新生児生体情報モニタ機器
内視鏡関連機器	網膜断層診断装置
内視鏡ビデオシステム	眼軸長測定装置
超音波内視鏡システム	高気圧酸素治療装置
上部消化管汎用ビデオスコープ	リフト式特殊浴槽
下部内視鏡ビデオスコープ	歯科治療ユニット
十二指腸内視鏡ビデオスコープ	院内情報システム・システム機器
小腸内視鏡ビデオスコープ	電子カルテシステム
気管支ビデオスコープ	医事会計システム
高周波手術装置	D P C 経営分析システム・D P C コスト分析システム
	診療費自動支払機・P O S レジスター
	院内情報発信システム

## 6. 職員に関する事項

### (1) 職種別職員の状況

H23. 4. 1現在

職種	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
医師	88(17)	90(14)	93(15)	98(15)	95(12)
薬剤師	17	18	18	20	20
診療放射線技師	16	17	18	19	20
臨床検査技師	25	26	25	26	26
理学療法士	11	12	15	17	19
作業療法士	5	5	6	7	7
視能訓練士	3	2	2	2	3
言語聴覚士	3	4	4	5	5
歯科衛生士	3	4	4	4	5
臨床心理士				1	1
栄養士	5	7	7	7	8
調理員	25	26	28	29	29
保健師	1	1	1	1	1
助産師	16	17	19	35	35
看護師	275	297	322	332	351
准看護師	29	28	31	32	28
臨床工学技士	4	6	6	8	8
看護助手	29	38	40	42	51
事務	58	64	80	90	110
その他	4	5	6	7	9
合計	617	667	725	782	831

( )は初期研修医内数

## 7. 平成22年度飯田市立病院事業報告

### (1) 概況

#### 1) 総括事項

平成22年4月の診療報酬改定は、+0.19%（診療報酬+1.55%、薬価等△1.36%）と10年ぶりのプラス改定となりました。また、救急医療や手術料の引き上げなど病院への評価が図られました。当院は、平成21年度に8年ぶりの黒字決算となりましたが、平成22年度も収益の確保が進み財務状況は順調に推移しました。

平成22年度の患者動向は、入院が0.6%増の125,147人、外来が4.5%増の239,903人で、入院収益は約75億5千万円、外来収益は約25億7千万円で、合計約101億2千万円となり、前年度より約7億6千万円増加しました。

診療単価は、診療報酬改定の影響もあり、入院単価が7.7%増加、外来単価が3.1%増加しました。

医業費用は約7億円増加しました。患者数の増加に伴い材料費が増加したほか、医師、看護師、コメディカル等の増員により人件費が増加しました。費用には退職給与引当金約2億円と修繕引当金1億円を含んでいます。

医業外費用は企業債支払利息の減少等により約1億8千万円の減となりました。

また、一般会計繰入金については、昨年度に引き続き実際の繰入額を減額しました。

これらの結果、経常利益は5億6百万円、高松分院の資産の除却に伴う特別損失が約1億2千万円あり、純利益としては3億8千7百万円となりました。これは飯田市立病院改革プランの收支計画を上回っています。

診療体制については、眼科の常勤医を確保することが出来たため、眼科の手術を平成22年8月から再開することができました。

また、産科については、ひとつの診療所が平成23年3月から分娩の取り扱いを中止したため、当地域の出産を担うのは、当院と1診療所のみとなりました。産科問題懇談会等でも検討が行われましたが、当院が受入れを拡大することで地域の出産を守るため、急きょ、分娩室を1室増やし、外来も診察室を増やすなどの施設改修を行いました。

今後は、飯田下伊那の居住者についてはほぼ受入れが可能ですが、里帰り出産については、受付件数によっては制限せざるを得ない状況も予想されます。

産科の問題もですが、当院が地域にとって必要な救急医療や産科医療、高度医療、がん医療などに積極的に取り組むためには現在の施設では手狭なため、第3次整備事業として大規模な増改築を計画しています。平成23年度中には着工する予定ですが、施設とスタッフの充実を図りつつ地域住民の期待に応えていきたいと考えます。

初期臨床研修医については15名を受け入れました。また、各医療機関で初期臨床研修を終了し、さらに専門領域を深めるための後期臨床研修として医師17名が当院に勤務しました。医師確保については全国的に厳しい状況であり、当院も診療科によってはかなりの負荷が医師にかかっている状態ですが、医師クラークの採用拡大による医師の負担軽減や、研修医の確保な

どにより、診療体制を維持・向上させて地域の期待に応えていきたいと考えます。

平成23年3月11日に発生した東日本大震災に対しては、震災直後にDMAT隊(災害派遣医療チーム)が出動したほか、長野県からの派遣依頼を受け医療救護班が被災地へ入り、石巻市を中心に医療支援活動を行っています。(平成23年度も継続中)

ドクターヘリについては、長野県が2機目のドクターヘリの配備先を検討するために検討委員会を立上げ、基地病院を希望する病院は同委員会にて提案を行うことになりました。当院は、信州大学等に比べれば医師数は十分とはいえないが、当地域の地形や道路状況から、ドクターヘリの要請件数が多く、地域住民にとって当院への配備による時間短縮効果が高いことから、1月17日の委員会にて提案を行いました。最終的に配備先は信州大学医学部附属病院になりましたが、委員会として南信地域への積極的な医師配置が求められました。

医療安全対策や患者サービスの向上、接遇の改善などについては、各委員会を中心に積極的に取組んでいます。ご意見カードで寄せられた要望・意見や患者満足度調査などの客観的な指標により検証しながら、よりよいサービスの向上を推進しています。また、患者さんの個人情報についても、適切に保護し管理することを進めています。

10月23日に当院としては初めて病院祭を行いましたが、多くの皆様のご参加をいただきました。介護老人保健施設と高松診療所については、平成22年6月から新施設で運営を始めました。平成23年度に旧施設を解体撤去し、玄関周りを整えて全体が完成することになります。

## 2) 施設の状況

(ア) 本年度取得した施設等の概要は次のとおりです。 (金額は消費税抜)

a 土 地	は	病院敷地駐車場	31, 289, 978 円
b 建物及び附属設備	は	感染病舎改修工事 他	98, 366, 190 円
c 構築物	は	院内託児所整備工事 他	4, 310, 000 円
d 医療器械器具及び備品	は	手術支援ナビゲーションシステム 他	430, 773, 800 円
e 一般器具及び備品	は	院内無線LAN 他	47, 363, 579 円
f 車両及び運搬具	は	小型乗用車 他	2, 869, 534 円

(イ) 本年度除却した施設等の概要は次のとおりです。 (金額は消費税抜)

a 建物及び附属設備	は	旧高松分院西館 他	186, 634, 539 円
b 医療器械器具及び備品	は	手術室集中治療室モニタリングシステム 他	606, 233, 300 円
c 一般器具及び備品	は	病院情報システムサーバー 他	107, 165, 365 円
d 車両及び運搬具	は	小型乗用車 他	4, 252, 530 円

### 3) 患者の状況

入院患者数は、延べ 125,147 人(前年度対比 100.6%)、一日平均 342.9 人、病床利用率 85.1%(決算統計上 90.8%)、前年度に比較して、延べで 685 人、一日平均 1.9 人、利用率では 0.5 ポイント増加しました。また、平均在院日数は 12.9 日でした。

高松診療所を含む外来患者数は、延べ 239,903 人(前年度対比 104.5%)、一日平均 987.5 人で、前年度に比較して、延べで 10,262 人、一日平均 38.1 人の増加となりました。

### 4) 経理の状況

#### (ア) 収益的収入(損益計算書)

入院収益は 7,547,242,465 円、外来収益が 2,569,625,563 円で、前年度に比較し、入院では 578,413,597 円(8.3%)の増加、外来では 183,710,571 円(7.7%)の増加となりました。患者1人1日当たりの診療収入は、入院 60,307 円、外来 10,711 円(高松診療所を含む)となり、前年度に比較し入院では 4,315 円(7.7%)、外来では 321 円(3.1%)増加しました。

病院事業収益全体では前年度に比較し、687,864,143 円(6.3%)増加の 11,547,153,225 円となりました。

#### (イ) 収益的支出(損益計算書)

病院事業費用は前年度に比較し給与費は 404,387,459 円(7.4%)増加(退職給与引当金を含む)、材料費は 98,784,585 円(4.3%)増加、経費は 122,573,513 円(9.6%)増加、企業債利息は 175,746,804 円(53.0%)減少、減価償却費は 47,572,233 円(6.9%)増加、繰延勘定償却は 14,676,227 円(6.5%)減少しました。又、高松分院固定資産等除却損(特別損失)として 119,550,452 円を計上しました。

病院事業費用全体では前年度に比較し、636,642,851 円(6.0%)増加の 11,160,647,571 円となりました。

この結果、経常損益で 506,056,106 円、純損益で 386,505,654 円の利益となりました。

#### (ウ) 資本的収入

企業債は 745,100,000 円、企業債償還元金及び建設改良費等を繰入項目とする他会計負担金は 374,943,000 円、国県補助金は 8,412,000 円、介護老人保健施設建設に係る出資金は 15,000,000 円、寄附金は 1,000,000 円で、資本的収入総額は 1,144,455,000 円でした。

#### (エ) 資本的支出

医療機器等整備事業及び施設整備事業等の建設改良費は 665,426,706 円、企業債償還金は 1,081,352,896 円、開発費は 237,189,750 円で、資本的支出総額は 1,983,969,352 円でした。

なお、資本的収入額が資本的支出額に不足する額 839,514,352 円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 1,460,896 円及び過年度分損益勘定留保資金 838,053,456 円で補てんしました。

(2) 患者の年度別状況

区分	年度	病床数	診療日数	患者延数	・日平均患者数
入院	18	403	365	126,785	347.4
	19	403	366	123,188	336.6
	20	403	365	116,541	319.3
	21	403	365	124,452	341.0
	22	403	365	125,147	342.9
外来	18		245	249,431	1,018.1
	19		245	240,436	981.4
		212 (高松)	6,891 (高松)	32.5 (高松)	
	20		244	216,859	888.8
		238 (高松)	7,007 (高松)	29.4 (高松)	
	21		242	222,723	920.3
		238 (高松)	6,918 (高松)	29.1 (高松)	
	22		243	233,105	959.3
		241 (高松)	6,798 (高松)	28.2 (高松)	

(3) 平成22年度企業債及び一時借入金の状況

ア 企業債の概況

区分	前年度末残高	本年度借入高	本年度償還高	本年度末残高	備考
企業債	円 9,869,451,312	円 745,100,000	円 1,081,352,896	円 9,533,198,416	財政融資資金 八十二銀行 飯田信用金庫 みなみ信州農業協同組合 簡易生命保険 地方公共団体金融機構 長野銀行 長野県労働金庫

イ 一時借入金の状況

該当なし

(4) その他会計経理に関する重要事項

ア 特別損失にかかる事項

介護老人保健施設の完成に伴い、旧高松分院西館ほかを固定資産除却として 119,550,452円を高松分院固定資産等除却損(特別損失)として計上した。

(5) 平成22年度飯田市病院事業決算報告書

収益的収入及び支出

[收 入]

区分	予 算 額		
	当初予算額	補正予算額	地方公営企業法第24条第3項の規定による支出額に係る財源充当額
第1款 病院事業収益	円 10,974,000,000	円 507,557,000	円 0
第1項 医業収益	10,071,000,000	490,000,000	0
第2項 医業外収益	903,000,000	17,557,000	0

[支 出]

区分	予 算 額				
	当初予算額	補正予算額	予備費支出額	流用増減額	地方公営企業法第24条第3項の規定による支出額
第1款 病院事業費用	円 10,989,000,000	円 487,835,000	円 0	円 0	円 11,476,835,000
第1項 医業費用	10,426,100,000	487,295,000	0	0	0 10,913,395,000
第2項 医業外費用	441,900,000	540,000	0	0	0 442,440,000
第3項 特別損失	121,000,000	0	0	0	0 121,000,000

資本的収入及び支出

[收 入]

取

区分	予 算 額		
	当初予算額	補正予算額	小計
第1款 資本的収入	円 1,177,009,000	円 232,000,000	円 1,409,009,000
第1項 企業債	802,500,000	231,000,000	1,033,500,000
第2項 負担金	371,509,000	0	371,509,000
第3項 国庫補助金	3,000,000	0	3,000,000
第4項 市補助金	0	0	0
第5項 出資金	0	0	0
第6項 寄附金	0	1,000,000	1,000,000

[支 出]

区分	予 算 額				
	当初予算額	補正予算額	流用増減額	小計	地方公営企業法第26条の規定による繰越額
第1款 資本的支出	円 1,945,753,000	円 264,500,000	円 0	円 2,210,253,000	円 93,000,000
第1項 建設改良費	590,000,000	264,500,000	0	854,500,000	93,000,000
第2項 企業償還金	1,081,353,000	0	0	1,081,353,000	0
第3項 開発費	274,400,000	0	0	274,400,000	0

資本的収入額が資本的支出額に不足する額 839,514,352円は、当年度分消費税及び地方消費税資本の收支

合 計	決 算 額	予算額に比べ 決算額の増減	備 考
円 11,481,557,000	円 11,565,798,500	円 84,241,500	
10,561,000,000	10,793,679,824	232,679,824	(うち仮受消費税 17,402,345 円)
920,557,000	772,118,676	△ 148,438,324	(うち仮受消費税 1,242,932 円)

地方公営企業法第26条第2項の規定による繰越額	合 計	決 算 額	地方公営企業法第26条第2項の規定による繰越額	不 用 額	備 考
円 0	円 11,476,835,000	円 11,125,029,163	円 0	円 351,805,837	
0	10,913,395,000	10,600,190,651	0	318,204,349	(うち仮払消費税 129,089,409 円)
0	442,440,000	405,288,060	0	37,151,940	(うち仮払消費税 1,089,016 円)
0	121,000,000	119,550,452	0	1,449,548	

## 入

継続費過次繰越額に係る財源充当額	合 計	決 算 額	予算額に比べ 決算額の増減	備 考
円 0	円 1,462,509,000	円 1,144,455,000	円 △ 318,054,000	
0	1,033,500,000	745,100,000	△ 288,400,000	
0	408,509,000	374,943,000	△ 33,566,000	
0	3,000,000	5,825,000	2,825,000	
0	0	2,587,000	2,587,000	
0	16,500,000	15,000,000	△ 1,500,000	
0	1,000,000	1,000,000	0	

合 計	決 算 額	翌 年 度 繰 越 額			不 用 額	備 考
		地方公営企業法第26条の規定による繰越額	継続費過次繰越額	合 計		
円 2,303,253,000	円 1,983,969,352	円 207,341,000	円 0	円 207,341,000	円 111,942,648	
947,500,000	665,426,706	177,551,000	0	177,551,000	104,522,294	(うち仮払消費税 30,203,625 円)
1,081,353,000	1,081,352,896	0	0	0	104	
274,400,000	237,189,750	29,790,000	0	29,790,000	7,420,250	(うち仮払消費税 11,294,750 円)

調整額 1,460,896円及び過年度分損益勘定留保資金 838,053,456円で補てんした。

## (6) 飯田市病院事業損益計算書

(単位:円)

	20年度	21年度	22年度
1 医業収益	8,712,842,803	10,011,437,154	10,776,277,479
(1) 入院収益	5,869,686,476	6,968,828,868	7,547,242,465
(2) 外来収益	2,176,952,187	2,385,914,992	2,569,625,563
(3) その他の医業収益	666,204,140	656,693,294	659,409,451
2 医業費用	8,948,563,040	9,773,239,479	10,471,101,242
(1) 給与費	4,863,848,075	5,449,053,175	5,853,440,634
(2) 材料費	2,011,787,589	2,306,842,751	2,405,627,336
(3) 経費	1,246,862,873	1,271,714,432	1,394,287,945
(4) 減価償却費	762,123,546	690,804,654	738,376,887
(5) 資産減耗費	26,879,607	20,487,944	34,995,009
(6) 研究研修費	37,061,350	34,336,523	44,373,431
医業損益	△ 235,720,237	238,197,675	305,176,237
3 医業外収益	922,542,490	847,851,928	770,875,746
(1) 受取利息配当金	9,978,388	5,568,591	5,768,429
(2) 他会計負担金	691,901,000	578,764,000	440,814,000
(3) 財産収入	5,096,847	7,644,465	7,594,940
(4) 他会計補助金	129,187,000	168,390,000	198,627,000
(5) 国庫補助金	26,269,000	25,764,000	25,127,750
(6) 県補助金	23,371,000	23,618,000	35,661,000
(7) その他医業外収益	36,739,255	38,102,872	57,282,627
4 医業外費用	816,449,728	750,765,241	569,995,877
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	411,264,997	331,566,457	155,819,653
(2) 繰延勘定償却	224,277,986	225,291,960	210,615,733
(3) 患者外給食材料費	1,285,128	1,132,514	1,275,916
(4) 院内保育所費	19,008,245	19,752,154	20,599,603
(5) 雜損失	160,613,372	173,022,156	181,684,972
3 - 4	106,092,762	97,086,687	200,879,869
経常損益	△ 129,627,475	335,284,362	506,056,106
5 特別利益	0	0	0
(1) 固定資産売却益	0	0	0
(2) 過年度損益修正益	0	0	0
(3) その他特別利益	0	0	0
6 特別損失	0	0	119,550,452
(1) 固定資産売却損	0	0	0
(2) 過年度損益修正損	0	0	0
(3) 高松分院固定資産等除却損	0	0	119,550,452
5 - 6	0	0	△ 119,550,452
当年度純損益	△ 129,627,475	335,284,362	386,505,654
前年度繰越欠損金	2,068,969,119	2,198,596,594	1,863,312,232
当年度未処理欠損金	2,198,596,594	1,863,312,232	1,476,806,578

## (7) 飯田市病院事業剩余金計算書

(単位:円)

	20年度	21年度	22年度
[ 利益剰余金の部 ]			
1 減債積立金			
1 前年度末残高	0	0	0
2 前年度繰入額	0	0	0
3 当年度処分額	0	0	0
4 当年度残高	0	0	0
積立金合計	0	0	0
2 欠損金			
1 前年度未処理欠損金 前年度未処分利益剰余	3,318,491,884	2,198,596,594	1,863,312,232
2 前年度欠損金処理額 前年度利益剰余金処分	1,249,522,765	0	0
繰越欠損金年度末残高 繰越利益剰余金年度末残	2,068,969,119	2,198,596,594	1,863,312,232
3 当年度純損益	△ 129,627,475	335,284,362	386,505,654
当年度末処理欠損金	2,198,596,594	1,863,312,232	1,476,806,578
[ 資本剰余金の部 ]			
1 受贈財産評価額			
1 前年度末残高	33,536,550	33,536,550	33,536,550
2 前年度処分額	0	0	0
3 当年度発生額	0	0	0
4 当年度処分額	0	0	0
5 当年度末残高	33,536,550	33,536,550	33,536,550
2 寄附金			
1 前年度末残高	24,057,718	26,357,718	26,357,718
2 前年度処分額	0	0	0
3 当年度発生額	2,300,000	0	1,000,000
4 当年度処分額	0	0	0
5 当年度末残高	26,357,718	26,357,718	27,357,718
3 補助金			
1 前年度末残高	937,047,300	950,749,300	913,784,300
2 前年度処分額	0	0	0
3 当年度発生額	13,702,000	13,035,000	8,412,000
4 当年度処分額	0	50,000,000	0
5 当年度末残高	950,749,300	913,784,300	922,196,300
4 その他資本剰余金			
1 前年度末残高	5,664,078,728	4,811,464,963	5,268,895,963
2 前年度処分額	1,249,522,765	0	0
3 当年度発生額	396,909,000	457,431,000	374,943,000
4 当年度処分額	0	0	0
5 当年度末残高	4,811,464,963	5,268,895,963	5,643,838,963
翌年繰越資本剰余金	5,822,108,531	6,242,574,531	6,626,929,531

## (8) 飯田市病院事業貸借対照表

(単位:円)

	20年度	21年度	22年度
[ 資 産 の 部 ]	17,018,698,743	18,431,458,342	19,215,224,893
1 固定資産	12,954,991,655	13,799,970,545	13,544,483,638
(1) 有形固定資産	12,952,483,118	13,797,462,008	13,542,727,554
イ 土 地	4,399,020,501	4,444,360,029	4,475,650,007
ロ 建物及び附属設備	6,424,836,219	7,606,913,098	7,241,126,806
ハ 構 築 物	96,305,671	93,440,663	82,286,203
二 医療機械器具及び備品	1,666,438,769	1,578,841,607	1,619,218,857
ホ 一般器具及び備品	58,570,769	64,970,958	93,790,404
ヘ 車両及び運搬具	4,693,843	8,935,653	10,405,277
ト 建設仮勘定	302,617,346	0	20,250,000
(2) 無形固定資産	2,508,537	2,508,537	1,756,084
イ 電話加入権	1,934,444	1,934,444	1,756,084
ロ 地上権	574,093	574,093	0
(3) 投資	0	0	0
イ 長期貸付金	0	0	0
ロ その他の投資	0	0	0
2 流動資産	3,294,672,989	3,969,187,656	4,953,124,368
(1) 現金預金	1,874,112,690	2,201,480,162	3,057,001,388
(2) 未収金	1,386,413,273	1,733,883,439	1,858,425,068
(3) 貯蔵品	34,147,026	33,824,055	37,697,912
(4) 貸付金	0	0	0
(5) その他の流動資産	0	0	0
3 繰延勘定	769,034,099	662,300,141	717,616,887
(1) 開発費	83,386,333	102,783,844	298,412,918
(2) 退職給与金	495,840,259	332,576,212	195,816,818
(3) 控除対象外消費税	189,807,507	226,940,085	223,387,151

	20年度	21年度	22年度
[負債の部]	699,774,390	891,100,248	1,225,259,041
4 固定負債	0	274,000,000	572,000,000
(1) 引当金	0	274,000,000	572,000,000
イ 修繕費引当金	0	37,000,000	137,000,000
ロ 退職給与引当金	0	237,000,000	435,000,000
5 流動負債	699,774,390	617,100,248	653,259,041
(1) 未払金	683,263,252	600,606,015	636,096,558
(2) 一時借入金	0	0	0
(3) その他流動負債	16,511,138	16,494,233	17,162,483
[資本の部]	16,318,924,353	17,540,358,094	17,989,965,852
6 資本金	12,695,412,416	13,161,095,795	12,839,842,899
(1) 自己資本金	1,084,983,483	1,688,424,483	1,703,424,483
(2) 借入資本金	11,610,428,933	11,472,671,312	11,136,418,416
イ 他会計借入金	1,603,220,000	1,603,220,000	1,603,220,000
ロ 企業債	10,007,208,933	9,869,451,312	9,533,198,416
ハ 特定資金公共投資事業債	0	0	0
7 剰余金	3,623,511,937	4,379,262,299	5,150,122,953
(1) 資本剰余金	5,822,108,531	6,242,574,531	6,626,929,531
イ 受贈財産評価額	33,536,550	33,536,550	33,536,550
ロ 寄附金	26,357,718	26,357,718	27,357,718
ハ 補助金	950,749,300	913,784,300	922,196,300
ニ その他資本剰余金	4,811,464,963	5,268,895,963	5,643,838,963
(2) 欠損金	2,198,596,594	1,863,312,232	1,476,806,578
イ 当年度未処理欠損金	2,198,596,594	1,863,312,232	1,476,806,578
負債・資本合計	17,018,698,743	18,431,458,342	19,215,224,893

## (9) 経営分析に関する調

( )は前年度数値

団体名	飯田市	病院名	飯田市立病院	
項目		算出基礎		数値・単位
				増減率
1病床利用率	(1)一般	年延一般入院患者数	( 134,857 ) × 100	( 90.8 )
		年延一般病床数	( 147,095 )	91.7 %
	(2)結核	年延結核入院患者数	( ) × 100	( )
		年延結核病床数	( )	%
	(3)伝染	年延伝染入院患者数	( 0 ) × 100	( 0.9 )
		年延伝染病床数	( 1,460 )	0.0 %
2患者数	(4)計	年延入院患者数	( 134,857 ) × 100	( 89.9 )
		年延総病床数	( 148,555 )	90.8 %
	(1)一日平均患者数	年延入院患者数	( 134,857 )	( 366.0 )
		ア 入 院	365 ( 365 )	369.5 人
	(2)外来入院患者比率	年延外來患者数	( 239,903 )	( 948.9 )
		診療日数	( 243 )	987.3 人
3収入	(3)職員一人一日当たり患者数	年延外來患者数	( 239,903 ) × 100	( 171.9 )
		年延入院患者数	( 134,857 )	177.9 %
		年延入院患者数 A	( 134,857 )	( 4.1 )
		年延医者数 D	( 34,370 )	3.9 人
		年延外來患者数 B	( 239,903 )	( 7.1 )
		D	( 34,370 )	7.0 人
	(4)看護部門職員数	A	( 134,857 )	( 1.0 )
		年延看護部門職員数 E	( 145,629 )	0.9 人
		B	( 239,903 )	( 1.7 )
		E	( 145,629 )	1.6 人
(2)職員一人一日当たり診療収入	(1)患者一人一日当たり診療収入	入院収益	( 7,547,242 )	( 52,165 )
		A	( 134,857 )	55,965 円
	(2)職員一人一日当たり診療収入	投薬注射収入	( 598,459 )	( 4,361 )
		A	( 134,857 )	4,438 円
	(3)職員一人一日当たり診療収入	検査収入	( 340,714 )	( 2,356 )
		A	( 134,857 )	2,526 円
	(4)職員一人一日当たり診療収入	X線収入	( 205,776 )	( 1,368 )
		A	( 134,857 )	1,526 円
	(5)職員一人一日当たり診療収入	外來収益	( 2,569,626 )	( 10,390 )
		B	( 239,903 )	10,711 円
	(6)職員一人一日当たり診療収入	投薬注射収入	( 481,015 )	( 2,017 )
		B	( 239,903 )	2,005 円
	(7)職員一人一日当たり診療収入	検査収入	( 632,390 )	( 2,435 )
		B	( 239,903 )	2,636 円
	(8)職員一人一日当たり診療収入	X線収入	( 581,172 )	( 2,237 )
		B	( 239,903 )	2,423 円
	(9)職員一人一日当たり診療収入	入院外來収益 C	( 10,116,868 )	( 287,423 )
		D	( 34,370 )	294,352 円
		C	( 10,116,868 )	( 68,926 )
		E	( 145,629 )	69,470 円

項目		算出基礎	数値・単位	増減率
	(3)職員一人当り医業収入	医業収入 ( 10,776,277 ) 損益勘定所属職員数 ( 576 )	( 18,643,272 ) 18,708,814 円	0.4
費用 用 (4)	(1)患者一人一日当り薬品費 ア 投 薬	投薬薬品費 ( 150,534 ) A + B ( 374,760 )	( 398 ) 402 円	1.0
		注射薬品費 ( 818,920 ) A + B ( 374,760 )	( 2,246 ) 2,185 円	-2.7
		薬品費 ( 969,454 ) A + B ( 374,760 )	( 2,645 ) 2,587 円	-2.2
		ウ 計 給食材料費 ( 79,801 ) A ( 134,857 )	( 567 ) 592 円	4.4
	(2)入院患者一人一日当り給食材料費 ア 使用効率 イ 投薬薬品分	薬品収入(投薬分) ( 223,411 ) ×100 投薬薬品費 ( 150,534 )	( 150.3 ) 148.4 %	-1.3
		薬品収入(注射分) ( 856,063 ) ×100 注射薬品費 ( 818,920 )	( 101.5 ) 104.5 %	3.0
		医療材料費 ( 2,325,826 ) ×100 入院外来収益 ( 10,116,868 )	( 23.9 ) 23.0 %	-3.8
		投薬注射収入 ( 1,079,474 ) ×100 C ( 10,116,868 )	( 11.2 ) 10.7 %	-4.5
5診療収入に 対する割合	(1)投薬注射収入 (2)検査収入	検査収入 ( 973,104 ) ×100 C ( 10,116,868 )	( 9.3 ) 9.6 %	3.2
		X線収入 ( 786,948 ) ×100 C ( 10,116,868 )	( 7.4 ) 7.8 %	5.4
	(3)X線収入 (1) ア 薬品費 医療材料費	薬品費 ( 969,454 ) ×100 医業収益 F ( 10,776,277 )	( 9.6 ) 9.0 %	-6.3
		その他医療材料費 ( 1,356,372 ) ×100 F ( 10,776,277 )	( 12.7 ) 12.6 %	-0.8
6医業 収益す る割 合	(1) イ その他医療材料費 ウ 計 (2)職員給与費	医療材料費 ( 2,325,826 ) ×100 F ( 10,776,277 )	( 22.3 ) 21.6 %	-3.1
		職員給与費 ( 5,548,506 ) ×100 F ( 10,776,277 )	( 52.2 ) 51.5 %	-1.3
		年間検査件数 ( 878,280 ) ×100 年延総患者数 G ( 374,760 )	( 229.7 ) 234.4 件	2.0
		年間X線件数 ( 89,235 ) ×100 G ( 374,760 )	( 23.3 ) 23.8 件	2.1
	(3)検査技師1人当り検査件数 (4)検査技師1人当り検査収入	年間検査件数 ( 878,280 ) 年度末検査技師数H ( 21.9 )	( 38,089.7 ) 40,104.1 件	5.3
		検査収入 ( 973,104 ) H ( 21.9 )	( 39,904 ) 44,434 千円	11.4
7検査の状況	(5)放射線技師一人当り検査件数 (6)放射線技師一人当りX線収入	年間X線件数 ( 89,235 ) 年度末放射線技師数I ( 19.0 )	( 4,711.2 ) 4,696.6 件	-0.3
		X線収入 ( 786,948 ) I ( 19.0 )	( 38,692 ) 41,418 千円	7.0
	(1)入院収益に対する室料差額収入割合 (2)経常収益に対する室料差額収入割合	室料差額収入 ( 8,709 ) ×100 入院収益 ( 7,547,242 )	( 0.2 ) 0.1 %	-50.0
		室料差額収入 ( 8,709 ) ×100 経常収益 ( 11,547,153 )	( 0.1 ) 0.1 %	0.0

項目	算出基礎	数値・単位	増減率
差額 (3)室料差額対象病床対総病床数の割合	室料差額対象病床数 ( 50 ) ×100 総病床数 ( 407 )	( 12.3 ) 12.3 %	0.0
9病床100床 当り職員数	年度末医師数 ( 92.7 ) ×100 (1)医師 年度末看護職員数 ( 394.1 ) ×100 (2)看護部門職員 J ( 407 ) 年度末薬剤職員数 ( 18.0 ) ×100 (3)薬剤部門職員 J ( 407 ) 年度末事務職員数 ( 91.8 ) ×100 (4)事務部門職員 J ( 407 ) 年度末給食職員数 ( 36.1 ) ×100 (5)給食部門職員 J ( 407 ) 年度末医療技術員数 ( 40.9 ) ×100 (6)医療技術員 J ( 407 ) 年度末その他職員数 ( 46.2 ) ×100 (7)その他職員 J ( 407 ) 年度末全職員数 ( 719.8 ) ×100 (8)全職員 J ( 407 )	( 22.5 ) 22.8 人 ( 89.7 ) 96.8 人 ( 4.9 ) 4.4 人 ( 19.0 ) 22.6 人 ( 8.4 ) 8.9 人 ( 9.8 ) 10.0 人 ( 9.9 ) 11.4 人 ( 164.1 ) 176.9 人	1.3 7.9 -10.2 18.9 6.0 2.0 15.2 7.8

## (10) 財務分析に関する調

( )は前年度数値

項目	算出基礎	比率	増減率
1固定資産構成比率	固定資産 ( 13,544,484 ) ×100 固定資産 ( 13,544,484 ) + 流動資産 ( 4,953,124 ) + 振延勘定 ( 717,617 )	( 74.9 ) 70.5	-5.9
2固定負債構成比率	固定負債 ( 572,000 ) + 借入資本金 ( 11,136,418 ) ×100 負債資本合計 ( 19,215,225 )	( 63.7 ) 60.9	-4.4
3自己資本構成比率	自己資本金 ( 1,703,424 ) + 利余金 ( 5,150,123 ) ×100 負債資本合計 ( 19,215,225 )	( 32.9 ) 35.7	8.5
4固定資産対長期資本比率	固定資産 ( 13,544,484 ) ×100 資本金 ( 12,839,842 ) + 利余金 ( 5,150,123 ) + 固定負債 ( 572,000 )	( 77.5 ) 73.0	-5.8
5固定比率	固定資産 ( 13,544,484 ) ×100 自己資本金 ( 1,703,424 ) + 利余金 ( 5,150,123 )	( 227.4 ) 197.6	-13.1
6流動比率	流動資産 ( 4,953,124 ) ×100 流動負債 ( 653,260 )	( 643.2 ) 758.2	17.9
7酸性試験比率	現金預金 ( 3,057,001 ) + 卡収金 ( 1,858,425 ) ×100 流動負債 ( 653,260 )	( 637.7 ) 752.4	18.0
8現金比率	現金預金 ( 3,057,001 ) ×100 流動負債 ( 653,260 )	( 356.7 ) 468.0	31.2
9減価償却率	当年度減価償却費 ( 738,377 ) 固定資産 ( 13,544,484 ) - 土地・建設仮勘定 ( 4,495,900 ) + 当年度減価償却費 ( 738,377 )	( 6.9 ) 7.5	8.7
10卡收回転率	営業収益 ( 10,776,277 ) - 受託工事収益 ( ) 期首卡収金 ( 1,733,884 ) + 期末卡収金 ( 1,858,425 ) ×0.5	( 6.4 ) 6.0	-6.3
11固定資産回転率	営業収益 ( 10,776,277 ) 期首固定資産 ( 13,799,970 ) + 期末固定資産 ( 13,544,484 ) ×0.5	( 0.7 ) 0.8	14.3
12総収支比率	総収益 ( 11,547,153 ) ×100 総費用 ( 11,160,648 )	( 103.2 ) 103.5	0.3
13経常収支比率	経常収益 ( 11,547,153 ) ×100 経常費用 ( 11,041,097 )	( 103.2 ) 104.6	1.4
14営業収支比率	営業収益 ( 10,776,277 ) - 受託工事収益 ( ) ×100 営業費用 ( 10,471,101 ) - 受託工事費用 ( )	( 102.4 ) 102.9	0.5
15利子負担率	支払利息 ( 155,820 ) + 企業債取扱諸費 ( ) ×100 企業債 ( 9,533,198 ) + 他会計借入金 ( 1,603,220 ) + 一時借入金 ( 0 )	( 2.9 ) 1.4	-51.7
企業債償還元金	建設改良のための企業債償還元金 ( 1,081,353 ) ×100	( 164.7 )	
16対減価償却額比率	当年度減価償却費 ( 738,377 )	146.4	-11.1
17 料 金 收 付 入 す に る 割 合	建設改良のための企業債元利償還金 ( 1,237,173 ) ×100 料金収入 ( 10,116,868 )	( 15.7 ) 12.2	-22.3
企業債元利償還金	企業債利息 ( 155,820 ) ×100 料金収入 ( 10,116,868 )	( 3.5 ) 1.5	-57.1
企業債利息	建設改良のための企業債償還元金 ( 1,081,353 ) ×100 料金収入 ( 10,116,868 )	( 12.2 ) 10.7	-12.3
入す に る	建設改良のための企業債償還元金 ( 1,081,353 ) ×100 料金収入 ( 10,116,868 )	( 55.9 ) 54.8	-2.0
割合	職員給与費 ( 5,548,506 ) ×100 料金収入 ( 10,116,868 )	( 18,643 ) 18,709	0.4
18職員1人当たり営業収益	営業収益 ( 10,776,277 ) 損益勘定所属職員数 ( 576 )	( 25,694 ) 23,512	-8.5
職員1人当たり	期末有形固定資産 ( 13,542,728 )	( 25,694 )	
19有形固定資産	損益勘定所属職員数 ( 576 ) + 資本勘定所属職員数 ( 0 )	23,512	-8.5
20経常利益比率	経常利益 ( 506,056 ) ×100 営業収益 ( 10,776,277 ) - 受託工事収益 ( )	( 3.3 ) 4.7	42.4
21累積欠損金比率	累積欠損金 ( 1,476,807 ) ×100 営業収益 ( 10,776,277 ) - 受託工事収益 ( )	( 18.6 ) 13.7	-26.3
22不良債務比率	流动負債 ( 653,260 ) - ( 流動資産 ( 4,953,124 ) - 翌年度繰越財源 ) ×100 営業収益 ( ) - 受託工事収益 ( )	( - ) -	-

## ※ 指標の解説

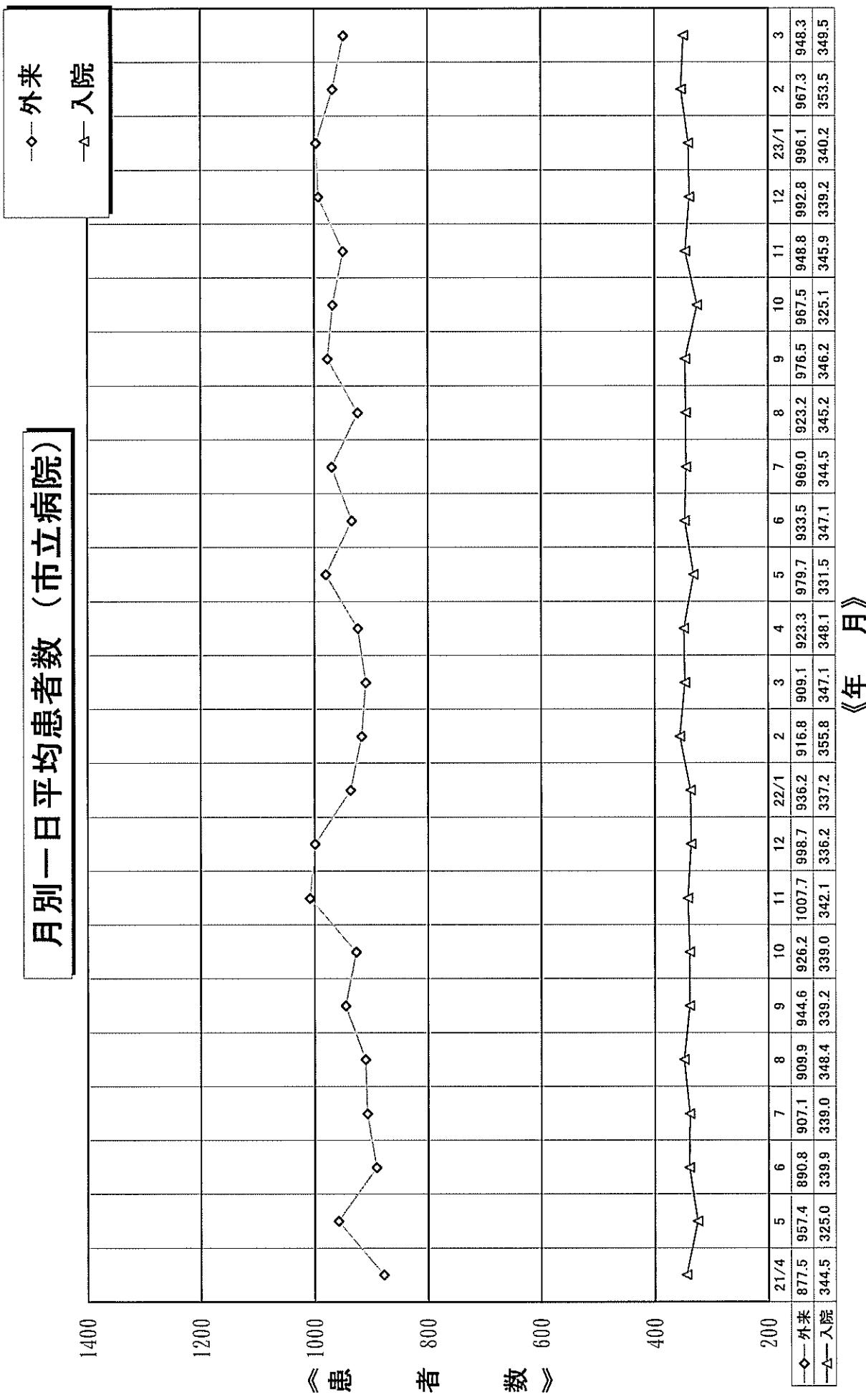
1固定資産構成比率	総資産に対する固定資産の比率で、低い値が良いとされる。事業の安定性の指標。
2固定負債構成比率	総資産に対する固定負債の比率で、低い値が良いとされる。事業の安定性の指標。
3自己資本構成比率	総資本に対する自己資本の比率で、高い値が良いとされる。事業の安定性の指標。
4固定資産対 長期資本比率	固定資産が、どの程度、長期資本によって調達されているかを示す比率で、常に100%以下で、かつ、低い値が良いとされる。
5固定比率	自己資本に対する固定資産の比率。固定資産は、1年以上にわたり使用される資産であることから、この調達源泉は、返済期限のない自己資本で賄うのが、安全な財務措置といえる。低い値が良いとされる。
6流動比率	流動負債に対する流動資産の比率。短期的な負債に対する支払いのための資金がどれくらいあるかを見る比率で、高い値ほど運転資金があると判断できる。
7酸性試験比率	流動負債に対する当座資産の比率。流動性を判断する指標で、100%以上であることが望ましい。
8現金比率	流動負債に対する現金、預金の比率。短期的な支払能力を表す。酸性試験比率と似ているが、その中で最も確実な支払手段のみを考慮している。100%以上が望ましい。
9減価償却率	減価償却である固定資産のうち、当年度に減価償却される割合を示す。固定資産に投下された資本の回収状況を判断する指標で、数値が大きいほど投下資本が貨幣性資産として回収され、資本として内部留保されることを示す。
10卡収金回転率	卡収金が収益によって何回転しているかを示す。卡収金の回転状況を判断する指標で、数値が大きいほど卡収期間が短く、卡収金が早く回収されていることを示す。
11固定資産回転率	固定資産が収益によって何回転しているかを示す。数値が大きいほど施設などの固定資産が有効に稼働していることを示す。
12総収支比率	総費用に対する総収益の比率。損益計算上、総体の収益で総体の費用をまかなうことができるかどうかを示す。100%以上が良いとされる。
13経常収支比率	経営費用に対する経常収益の比率を示す。100%を超える場合は単年度黒字を、100%未満の場合は単年度赤字を示すことになる。
14営業収支比率	営業費用に対する営業収益の割合を示す。数値が100%未満の場合には健全経営とはいえない。
15利子負担率	数値が小さいほど低利の借入金を利用していることになる。
16企業債償還元金 対減価償却額比率	減価償却に対する企業債償還元金の割合を示す。内部留保資金である減価償却費で、企業債償還元金が賄われているかどうかを見るものであり、数値が小さいほど資金的に余裕があるということになる。
17料金に対する割合	
企業債元利償還金	料金収入に対する企業債元利償還金の割合を示す。企業債償還元金がどの程度経営の圧迫要因となっているかを示すもので、数値が小さいほどよい。
企業債利息	料金収益に対する企業債利息の割合を示す。企業債利息がどの程度経営の圧迫要因となっているかを示すもので、数値が小さいほどよい。
企業債償還元金	料金収入に対する企業債償還元金の割合を示す。企業債償還元金がどの程度経営の圧迫要因となっているかを示すもので、数値が小さいほどよい。
職員給与費	料金収益に対する職員給与費の割合を示す。職員給与費がどの程度経営の圧迫要因となっているかを示すもので、数値が小さいほどよい。
18職員1人当たり 営業収益	労働生産性を示す。主たる営業活動として行う貿易・サービスの提供の対価としての収入が、職員一人当たりだけの収益を得ているかを示すもので、数値が大きいほどよい。
19職員1人当たり 有形固定資産	労働生産性を示す。固定資産のうち土地、建物、建設仮勘定などの有形固定資産が、職員一人当たりどの程度あるかを示すもので、数値が大きいほどよい。
20経常利益比率	営業収益に対する経常利益の割合を示す。数値が小さいほど、その企業固有の事業の収益性の低さが指摘される。
21累積欠損金比率	営業収益に対する累積欠損金の割合を示す。数値が大きいほど経営が悪化していることを示す。
22不良債務比率	営業収益に対する不良債務の割合を示す。数値が大きいほど経営状況が悪化していることを示す。

## 8. 業務の状況

### (1) 飯田市立病院患者動向統計

区分	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
		18	19,613	20,888	21,858	20,812	22,302	20,231	21,520	20,244	20,666	19,752	19,752	21,893
外 来 患 者 数	19	19,563	20,811	20,307	21,464	22,015	18,652	21,205	20,258	19,358	19,217	18,946	18,640	240,436
	20	18,017	17,837	17,968	19,169	17,316	17,732	19,450	17,017	18,163	17,952	17,052	19,186	216,859
	21	18,427	17,233	19,597	19,956	19,107	17,948	19,450	18,092	17,811	17,698	17,374	20,000	222,723
	22	19,390	17,635	20,537	20,348	20,311	19,529	19,349	18,976	18,864	18,926	18,378	20,862	233,105
	18	980.7	1,044.4	993.5	1,040.6	965.3	1,011.6	1,024.8	1,012.2	1,033.3	1,039.6	1,039.6	1,042.5	1,018.1
	19	978.2	991.0	967.0	1,022.1	957.2	1,036.2	963.9	964.7	1,018.8	1,011.4	947.3	932.0	981.4
平 成 均 平 均	20	858.0	849.4	855.6	871.3	824.6	886.6	884.1	945.4	955.9	944.8	897.5	913.6	888.8
	21	877.5	957.4	890.8	907.1	903.9	944.6	926.2	1,007.7	998.7	936.2	916.8	909.1	920.3
	22	923.3	979.7	933.5	969.0	923.2	976.5	967.5	948.8	992.8	996.1	967.3	948.3	959.3
	18	10,495	10,824	10,174	10,097	11,140	10,343	10,733	10,391	10,574	10,706	10,409	10,899	126,785
	19	10,180	10,630	10,572	10,716	10,623	9,986	10,987	10,175	9,854	9,855	9,617	9,993	123,188
	20	9,034	9,457	9,347	9,497	9,402	9,274	10,431	9,644	10,145	10,159	9,447	10,704	116,541
入 院 患 者 数	21	10,334	10,074	10,196	10,508	10,801	10,176	10,510	10,264	10,422	10,453	9,963	10,761	124,462
	22	10,442	10,278	10,413	10,679	10,700	10,387	10,078	10,378	10,514	10,545	9,897	10,836	125,147
	18	349.8	349.2	339.1	325.7	335.4	344.8	346.2	346.4	341.1	345.4	371.8	351.6	347.4
	19	339.3	342.9	352.4	345.7	342.7	332.9	354.4	339.2	317.9	317.9	331.6	322.4	336.6
	20	301.1	305.1	311.6	306.4	303.3	309.1	336.5	321.5	327.3	327.7	337.4	345.3	319.3
	21	344.5	325.0	339.9	339.0	348.4	339.2	339.0	342.1	336.2	337.2	355.8	347.1	341.0
平 成 均 平 均	22	348.1	331.5	347.1	344.5	345.2	346.2	325.1	345.9	339.2	340.2	355.5	349.5	342.9

月別一日平均患者数（市立病院）



## (2) 各科業務量

(平成22年度)

区分 月	内 科	神 経 内 科	循 環 器 科	小 兒 科	外 科	整 形 外 科	脳 神 経 外 科	泌 尿 器 科	皮 膚 科	産 婦 人 科	眼 科	耳 鼻 喉 嚨 科	放 射 線 科	麻 醉 科	透 析 科	形 成 外 科	歯 科	一般 患 者 数	感 染 症 病 床	入 院 収 益
4	2,566	904	945	666	1,966	1,053	526	334	37	756	0	325	31	19	19	126	10,442	0	615,143,950	
5	2,269	650	979	761	1,932	931	467	376	47	1,167	0	286	111	0	52	165	85	10,278	0	593,975,716
6	2,186	727	908	663	2,049	1,082	499	372	101	1,027	0	280	98	15	99	198	109	10,413	0	635,661,833
7	2,382	802	841	593	1,823	1,278	669	412	149	931	0	346	90	0	60	236	67	10,679	0	640,326,907
8	2,438	900	716	438	1,778	1,297	650	396	106	947	68	408	96	0	50	229	183	10,700	0	633,263,137
9	2,250	765	704	659	1,662	1,290	650	258	116	995	115	409	85	0	45	261	123	10,387	0	622,319,118
10	2,278	771	673	497	1,690	1,451	671	219	81	912	137	272	116	0	18	153	139	10,078	0	607,076,333
11	2,121	872	954	534	1,581	1,462	628	331	104	1,055	123	245	101	0	20	90	157	10,378	0	633,422,732
12	2,101	954	987	659	1,470	1,279	744	407	73	985	138	409	91	0	4	86	127	10,514	0	634,738,080
13	2,369	698	973	570	1,608	1,316	733	369	73	942	117	420	147	0	6	117	87	10,545	0	653,469,597
2	2,302	614	914	379	1,817	1,172	615	370	77	828	112	366	142	0	28	94	67	9,897	0	609,539,853
3	2,387	668	805	598	2,202	1,187	657	401	45	956	157	353	163	0	16	177	64	10,836	0	668,305,209
計†	27,649	9,325	10,399	7,017	21,578	14,798	7,509	4,245	1,009	11,501	967	4,119	1,271	34	417	1,975	1,334	125,147	0	7,547,242,465

(平成22年度)

## ② 外来

区分 月	内 科	神 経 内 科	循 環 器 科	小 兒 科	外 科	整 形 外 科	脳 神 経 外 科	泌 尿 器 科	皮 膚 科	産 婦 人 科	眼 科	耳 鼻 喉 嚨 科	放射 線 科	麻 酔 科	透 視 科	形成 外 科	歯 科	歯 科 診 療 所	患者 数	患者 数	高 松 市 診 療 所 数	外来 収 益	元 金
4	3,256	800	1,185	1,522	2,088	2,509	451	940	1,045	1,473	575	1,022	716	56	551	656	364	181	19,390	632	216,065,639	元	
5	2,877	632	1,085	1,636	1,904	2,243	392	840	940	1,373	504	888	513	33	548	663	396	168	17,635	451	195,603,382	元	
6	3,406	726	1,207	1,573	2,187	2,557	446	1,042	1,142	1,619	653	1,110	770	55	556	830	437	221	20,537	641	220,450,495	元	
7	3,488	836	1,246	1,502	2,085	2,435	441	995	1,097	1,568	712	1,087	778	55	602	826	380	215	20,348	605	214,991,509	元	
8	3,293	721	1,121	1,613	2,067	2,536	390	1,047	1,160	1,597	801	1,163	685	51	576	875	406	209	20,311	570	214,063,631	元	
9	3,269	665	1,212	1,342	1,980	2,475	439	975	1,052	1,476	787	1,017	803	66	567	778	425	201	19,529	565	210,581,671	元	
10	3,275	674	1,188	1,419	2,104	2,361	422	924	1,014	1,427	841	973	796	60	575	662	434	200	19,349	576	213,828,680	元	
11	3,298	658	1,202	1,475	1,959	2,277	408	966	967	1,442	779	971	665	68	495	659	485	202	18,976	638	209,968,500	元	
12	3,263	673	1,214	1,462	1,986	2,183	414	949	932	1,423	882	924	657	74	564	616	466	182	18,864	555	209,709,916	元	
1	3,300	643	1,214	1,519	1,912	2,163	393	1,000	987	1,362	946	993	695	73	548	567	429	182	18,926	495	218,946,627	元	
2	3,141	654	1,139	1,299	1,874	2,134	410	945	900	1,354	910	1,020	900	98	499	500	408	193	18,378	534	212,641,472	元	
3	3,589	744	1,224	1,535	2,157	2,424	465	1,030	995	1,604	1,017	1,214	804	75	560	731	498	196	20,862	536	232,774,041	元	
計	39,455	8,426	14,237	17,897	24,303	28,297	5,071	11,653	12,231	17,718	9,407	12,382	8,782	764	6,641	8,363	5,128	2,350	233,105	6,798	2,569,625,563	元	

### ③-1 時間外急救患者數

平成22年度

③-2 時間外救急患者数

	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
総数	14,187	12,687	11,269	13,483	12,957
初診	7,738	6,858	6,006	6,349	5,803
再来	6,449	5,819	5,263	7,134	7,154
入院	2,401	2,264	2,329	2,381	2,329
内 ICU入院	194	196	171	175	177
救急車	1,717	1,826	1,674	1,763	1,827
ヘリ	24(出1入23)	12(出0入12)	21(出1入20)	27(出0入27)	11(出1入10)
内入院	810	829	841	856	846
死亡 (DOA)	50	33	36	51	44

24時間救急車情報

救急車 (ヘリを含む)	2,703	2,906	2,729	2,888	2,997
入院 (再掲)	1,154	1,448	1,491	1,468	1,485

④-1 年度別手術件数

	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
外科	887	919	866	896	876
整形外科	679	723	718	689	658
脳神経外科	139	118	79	90	105
心臓血管外科	30	0	3	108	116
泌尿器科	122	121	136	137	194
産婦人科	417	434	418	428	401
眼科	563	412	0	3	285
耳鼻咽喉科	162	163	162	177	194
皮膚科	6	0	11	9	30
形成外科	599	600	534	502	464
歯科口腔外科	78	66	68	53	84
内科	1	0	1	1	36
麻酔科	4	29	27	27	10
小児科			2	0	1
計	3,687	3,585	3,025	3,120	3,454

④-2 年度別がん手術件数

	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
肺がん	21	22	23	24	25
胃がん	89(16)	111(27)	87(18)	82(18)	97(18)
肝がん	6	8	11	15	25
大腸がん	82(13)	90(14)	110(6)	103(7)	109(11)
乳がん	68	96	70	70	64
子宮がん	20	25	21	21 円錐切除34	24 円錐切除39
その他のがん	178	168	225	239	200

( )内は内数 内視鏡手術施行例数

⑤ 年度別血管造影件数

	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
循環器科	404	387	387	476	588
放射線科	70	90	76	78	59
脳神経外科	50	27	22	16	4
他科	15	73	62	0	0
計	539	577	547	570	651

⑥ 年度別分娩件数

	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
経産分娩	770	752	770	803	841
帝王切開	233	256	190	203	210
計	1,003	1,008	960	1,006	1,051

⑦ 年度別人工透析件数

	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
透析件数	6,868	6,967	6,729	7,282	7,404

⑧ 年度別病理解剖数

	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
死亡数（人）	474	493	510	559	510
病理解剖（件）	10	12	10	3	6

⑨ 年度別放射線科検査等件数

	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
一般撮影	39,038	42,073	42,732	47,567	48,364
X-TV	1,779	1,775	1,686	1,761	1,669
CT	10,961	11,225	10,932	11,870	13,027
RI	601	636	832	735	911
PET-CT	503	714	637	637	586
LINAC	8,062	6,605	6,857	7,864	8,975
RALS	48	34	38	42	49
MRI	3,596	3,628	3,284	3,646	4,230
超音波	9,760	10,490	10,138	10,211	10,639
血管撮影	552	580	564	605	681
計	74,900	77,760	77,700	84,938	89,131

⑩ 年度別給食数

年度 種別	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
一般食	198,998	189,250	184,202	191,353	188,313
特別食	110,107	111,001	102,849	109,818	116,367
計	309,105	300,251	287,051	301,171	304,680

⑪ 年度別調剤件数

年度	外来			入院		
	枚数	件数	剤数	枚数	件数	剤数
18年度	20,700 (117,109)	42,342	438,428 (85.0)	37,122	66,826	570,391
19年度	18,187 (109,136)	36,856	411,589 (85.7)	35,104	64,605	566,747
20年度	15,987 (111,973)	33,312	404,574 (85.7)	36,504	64,763	577,561
21年度	16,984 (96,940)	34,209	349,046 (85.1)	38,184	74,405	591,363
22年度	17,274 (101,026)	35,296	337,626 (85.4)	40,030	82,010	653,027

()内は院外処方箋発行枚数及び発行率

⑫ 年度別治験取扱い件数

年度	第Ⅱ相	第Ⅲ相	第Ⅳ相	第Ⅳ相（市販後臨床試験）
18年度		1	18	3
19年度			29	6
20年度			42 (がん:6 共同試験:5)	
21年度		7	31 (共同試験:3)	
22年度	1	5	43 (共同試験:3)	

⑬ 年度別薬剤管理指導算定件数

年度	1	2	3	合計
18年度	-	-	-	4,001
19年度	-	-	-	4,286
20年度	228	2,753	3,268	6,249
21年度	346	3,450	3,250	7,046
22年度	298	4,138	3,571	8,007

⑯ リハビリテーション科患者数

年度別単位数

年度	P T	O T	S T	合計
外来	18年度	10,742	8,327	4,118
	19年度	11,191	8,003	4,344
	20年度	11,281	7,604	4,182
	21年度	12,634	8,555	2,913
	22年度	15,173	9,352	2,754
入院	18年度	20,796	7,982	4,830
	19年度	24,686	8,466	6,089
	20年度	27,930	10,913	6,821
	21年度	29,614	12,919	7,594
	22年度	32,511	15,663	7,356
合計	18年度	31,538	16,309	8,948
	19年度	35,877	16,469	10,433
	20年度	39,211	18,517	11,003
	21年度	42,248	21,474	10,507
	22年度	47,684	25,015	10,110
				82,809

年度別人数

年度	P T	O T	S T	合計
外来	18年度	6,867	5,801	2,147
	19年度	6,684	5,176	2,253
	20年度	6,740	4,833	2,115
	21年度	7,151	5,302	1,503
	22年度	8,396	5,833	1,381
入院	18年度	18,697	6,386	4,649
	19年度	20,808	6,202	4,542
	20年度	21,800	6,794	4,563
	21年度	22,965	8,795	5,327
	22年度	24,232	10,459	5,448
合計	18年度	25,564	12,187	6,796
	19年度	27,492	11,378	6,795
	20年度	28,540	11,627	6,678
	21年度	30,116	14,097	6,830
	22年度	32,628	16,292	6,829
				55,749

年度	脳血管リハ	廃用リハ	運動器リハ	心血管リハ	呼吸器リハ	合計
外来	18年度	14,890	—	7,989	10	8
	19年度	15,072	—	8,271	35	12
	20年度	14,430	—	8,343	100	4
	21年度	12,552	—	11,414	259	0
	22年度	13,143	262	13,498	0	22
入院	18年度	20,596	—	10,985	841	279
	19年度	25,737	—	11,633	1,105	680
	20年度	30,037	—	12,663	1,598	571
	21年度	35,050	—	13,596	2,396	700
	22年度	27,659	13,104	12,484	3,611	756
合計	18年度	35,486	—	18,974	851	287
	19年度	40,809	—	19,904	1,140	692
	20年度	44,467	—	21,006	1,698	575
	21年度	47,602	—	25,010	2,655	700
	22年度	40,802	13,366	25,982	3,611	778
						84,539

⑯ 年度別検査科集計

年度別件数:外来

年度	一般	血液	生化	血清	細菌	病理	生理	外注	総数
18年度	32,879	70,927	126,889	59,384	8,351	4,558	22,707	37,506	363,201
19年度	35,023	73,383	129,398	63,066	8,036	4,643	22,374	27,353	363,276
20年度	34,020	74,173	131,716	70,000	8,497	4,298	22,280	19,012	363,996
21年度	35,594	84,669	140,320	80,463	9,910	4,642	23,773	19,900	399,271
22年度	38,896	94,750	149,224	88,156	9,365	5,773	25,474	21,612	433,250

年度別件数:入院

年度	一般	血液	生化	血清	細菌	病理	生理	外注	総数
18年度	8,058	52,531	29,041	27,994	6,198	2,270	9,141	8,010	143,243
19年度	8,169	55,338	30,848	27,951	6,726	2,352	8,697	5,731	145,812
20年度	7,509	58,568	30,310	28,383	6,983	2,503	8,690	4,123	147,069
21年度	7,426	64,184	30,429	30,724	8,665	2,672	8,384	5,031	157,515
22年度	7,636	65,538	29,693	33,348	7,813	2,826	8,533	5,475	160,862

⑯ 年度別訪問看護ステーション利用状況

年度	利用者	訪問回数	内時間外
18年度	140	4,519	608 (訪問281 電話327)
19年度	113	4,678	453 (訪問183 電話270)
20年度	110	4,628	479 (訪問177 電話302)
21年度	110	4,371	513 (訪問167 電話346)
22年度	117	4,195	555 (訪問197 電話358)

⑰ 年度別訪問リハビリの状況

年度	訪問リハビリ	
	訪問リハ利用者	訪問回数
18年度	22	233
19年度	30	582
20年度	34	596
21年度	110	2,859
22年度	105	3,062

⑱ 年度別在宅介護支援センター利用状況

年度	自立支援		在宅介護		
	委託料収入		居宅介護サービス 計画作成件数(件)	介護給付費合計 (千円)	月平均計画作成 (件) ／ 介護給付費(千円)
	一般事業費(千円)	実態把握分(千円)			
18年度	720	720	585	6,535	49/545
19年度	720	720	718	8,734	59/727
20年度	720	720	742	8,845	61/737
21年度	720	720	777	9,649	64/804
22年度	720	720	768	9,336	64/778

⑯ 年度別人間ドック検診数

年度	日帰り	通院2日	合計
18年度	2,016	230	2,246
19年度	2,128	236	2,364
20年度	1,819	225	2,044
21年度	1,857	214	2,071
22年度	1,895	204	2,099

⑰ 年度別医療福祉相談内容別件数

区分 年度	経済的 医療費 制度等	受診や 入院中 療養に ついて	在宅 療養に ついて	退院、 転院、 施設 利用に ついて	社会 復帰に ついて	介護 保険 制度に ついて	心理的 精神的 悩み等	がん 相談	その他	計
18年度	494	86	319	619	5	579	10	—	138	2,250
19年度	631	57	141	1,570	0	818	5	—	617	3,839
20年度	492	54	187	3,663	16	517	157	230	307	5,623
21年度	490	18	297	6,938	2	375	155	510	346	9,131
22年度	897	17	257	7,468	3	346	118	308	406	9,820

21 年度別紹介患者数の推移

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
18年度	821	744	933	1,000	1,004	978	960	926	884	839	865	894	10,848
19年度	841	892	865	938	1,011	871	1,065	911	911	886	843	809	10,843
20年度	876	788	866	1,005	874	928	980	911	944	819	854	989	10,834
21年度	919	823	1,000	1,017	1,011	919	1,002	829	888	848	848	952	11,056
22年度	958	891	1,074	1,099	1,014	951	944	982	1,041	919	964	1,068	11,905

22 年度別逆紹介患者数の推移

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
18年度	328	362	383	352	355	332	327	340	319	375	429	483	4,385
19年度	483	530	499	537	536	475	479	500	407	490	526	538	6,000
20年度	523	468	453	459	465	429	481	397	496	464	499	727	5,861
21年度	591	511	591	544	593	603	587	484	566	461	515	662	6,708
22年度	590	498	614	620	581	557	512	583	636	567	587	715	7,060

23 年度別ヘリコプター搬送件数

年度	搬入	搬出	合計
18年度	43	13	56
19年度	34	9	43
20年度	46	6	52
21年度	56	8	64
22年度	46	6	52

## 9. クリニカルシンティケーター

## 9. クリニカルインディケーター

(1) ICU入室及18再入室患者數(48時間以内)

再入室患者数	204年			211年			224年		
	再入室時 死亡数	対延 数%	人	再入室時 死亡数	対延 数%	人	再入室時 死亡数	対延 数%	人
延べ数	506			553			572		
実数	476	94.1		519	93.9		540	94.4	
48時間以内	0	0.0	0	3	0.5	0	5	0.9	0
3~7日以内	7	1.4	0	3	0.5	2	5	0.9	1

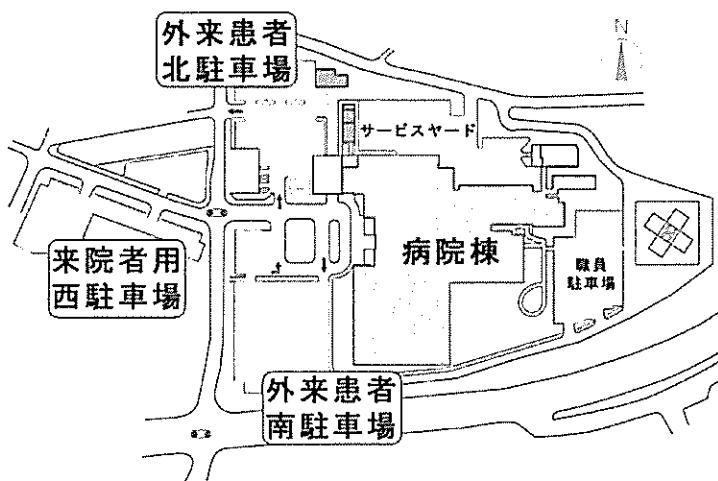
(2) 様瘡深達度(スチージ) …皮膚は、外層より表皮、真皮、皮下組織、筋層・骨に分かれるが、皮脂腺害を受けた際深さを、深達度によって表すもの。

深達度 (ステージ)	20年				21年				22年			
	発生状況		発生状況		発生状況		発生状況		発生状況		発生状況	
	院内	持込歴	院内	持込歴	院内	持込歴	院内	持込歴	院内	持込歴	院内	持込歴
I度	例数 (%)	1 3.6	2 3.8	3 3.7	3 23.2	4 4.0	4 10.9	17 13.2	10 13.2	4 3.1	4 3.1	14 6.8
II度	例数 (%)	20 71.4	20 37.7	40 49.4	36 64.3	55 55.0	91 58.3	50 65.8	77 59.7	77 62.0	127 127	127 127
III度	例数 (%)	7 25.0	23 43.4	30 37.0	5 8.9	29 29.0	34 21.8	15 19.7	39 30.2	15 26.3	54 54	54 54
IV度	例数 (%)	0 0.0	8 15.1	8 9.9	2 3.6	12 12.0	14 9.0	1 1.3	9 7.0	9 7.0	10 10	4.9 4.9
計	例数	28	53	81	56	100	156	76	129	76	129	205
	発生別割合%	34.6	65.4		35.9	64.1				37.1	62.9	

### (3) 予定しない再手術件数

科	20年				21年				22年				
	24時間 以内	24時間 超	手術 件數	対手術 件數%	24時間 以内	24時間 超	手術 件數	対手術 件數%	24時間 以内	24時間 超	手術 件數	対手術 件數%	
外 科	0	5	823	0.61	1	11	12	944	1.27	2	12	14	
整形外科	0	5	646	0.77	0	10	10	692	1.45	0	6	6	
形成外科	0	2	511	0.39	0	1	1	469	0.21	0	0	0	
器質器科	0	1	231	0.43	1	2	3	220	1.36	0	0	0	
耳鼻咽喉科	1	0	159	0.63	0	0	0	174	0.00	0	0	0	
眼 科	0	0	21	0.00	0	0	0	0	0.00	0	1	1	
その他科	0	0	801	0.00	0	1	1	783	0.13	0	3	3	
計	1	13	14	2,192	0.11	2	25	27	2,282	0.82	2	92	24
											3	569	0.67

## 駐車場ご利用案内

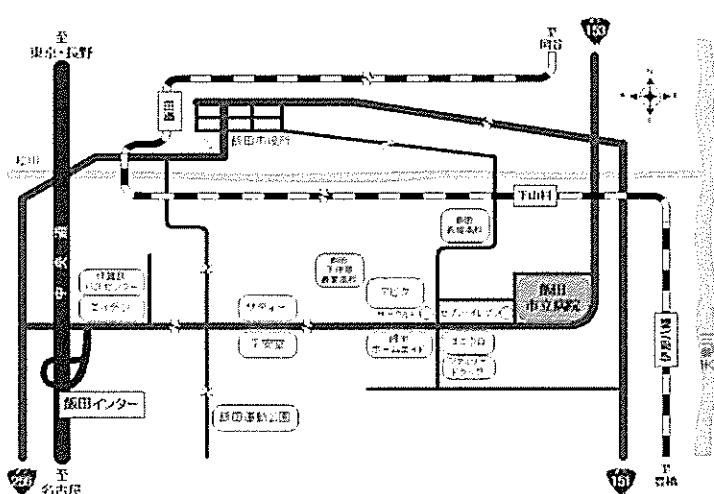


- ◎ 診察、検査の方は、北駐車場・南駐車場をご利用ください。駐車料金が無料になりますので、中央受付にて駐車料金の無料化を受けてください。
- ◎ 車椅子使用者専用及び身障者駐車場（収容台数 7台）をご利用の方は、職員にお申し出ください。
- ◎ 付き添いなどでご来院の方は、西駐車場をご利用ください。

	収容台数	利用時間	利用料金
南駐車場	162台		60分以内無料、以後30分ごとに100円
北駐車場	104台	24時間	診察、検査の方は無料
西駐車場	114台		無料

## アクセスマップ

飯田市立病院までの各種交通手段



### お車でお越しの方へ

- ・中央自動車道飯田I.C.より  
車で 7分 (約3.5km)
- 高速バスでお越しの方へ
- ・飯田バスセンター(飯田市内)  
より車で 7分
- ・伊賀良停留所(飯田I.C.近く)  
より車で 7分
- JRでお越しの方へ
- ・JR飯田線飯田駅(飯田市内)  
より車で 10分
- ・JR飯田線伊那八幡駅より  
徒歩 15分 (約1km)

### 飯田市 市民バス

- ・市内循環線
- ・飯田駅前 千代線
- ・飯田駅前 久堅線
- ・飯田駅前 三穂線

各線 市立病院バス停下車

### 信南交通 乗合バス

- ・富田 氏乗線
- ・飯田 喬木大島線
- ・市田線(市立病院経由)
- ・遠山郷線

各線 市立病院バス停下車

### 高速バス

- 東京方面から
- ・信南交通 新宿線
- 名古屋方面から
- ・信南交通 名古屋線



## 飯田市立病院

〒395-8502

長野県飯田市八幡町 438 番地

TEL.0265-21-1255(代表) FAX.0265-21-1266

<http://www.imh.jp/>